

沖繩県護国神社社報

うむい21号

～終戦70周年を迎えて～

社報「うむい」について

沖繩の言葉で「想い、願望、考え、所存」のことを「ウムイー」といい、戦争で亡くなっていった人達の思い、そして残された遺族、戦友達の想いを次の世代へと継承すべくつけられた名前。

日清戦争以後、敗然と困難に立ち向かっていった先人たちの尊い精神が、この「うむい」を通して末代まで受け継がれ、真に戦争の無い平和な世の中になるようにとの願いが込められている。



記事夢成

キジムナー

四月になると同時に、沖繩では海開きが行われる。青い空に青い海、そんな楽園の島沖繩に観光客が溢れるのは当然である。飛行機の窓から海を眺めると、透き通った海に思わず声が出る ▼しかしその海の底深くにはご英霊が眠っているのである。そう思うと小子も搭乗するたびに手を合わさずにはいられない。たった十七歳や十八歳で特攻に志願した若者たちの決意はいかばかりであつたらうか ▼「つばさ散り 操縦桿は折る々とも 求めてやまじ 沖繩の海」浜田齋命(三重県出身)の辞世である。沖繩を目指し沖繩を護ろうと非常な覚悟である。海へ消えていったご英霊の声を聴くことは叶わない。残された遺書や手帳、家族に宛てた手紙から推測するだけである。それらをみれば唯々愛する人、愛する祖国を護るため命を捧げたことが窺える ▼終戦から七十年、戦争体験者の語り部も減少しつつある。そんな時代になって来た今こそご遺書を拝し御心を学んで頂きたい。美しい海に浮かれることなく、美しさの裏側にある壮絶な戦いも決して忘れてはならない。七十年前のちようど今頃、沖繩戦真只中、当神社では毎年この時期から命日祭が連日斎行される。

終戦七十周年に想う

会長 座喜味和則



終戦七十周年にあたり曾ての戦争を回想してみたい。昭和十二年七月七日、支那

事変が勃発。短期決戦が長期化して昭和十六年十二月八日に我が国の米國ハワイ州の真珠湾攻撃にて大東亜戦争と拡大、緒戦の我が軍は有利に展開したが昭和十七年六月のミッドウェイ海戦で日本艦隊が敗れ以後戦況劣勢となり昭和十九年七月に南洋群島のサイパン、テニアンが降伏した。十月十日にはテニアンから出撃のB29爆撃機四百機が沖繩本島を始めて空爆、県都那覇市が殆ど壊滅状態となった。翌二十年三月十日には日本の首都東京がB29爆撃機の空爆で街の四分の一が焼失された。四月一日には米軍が沖繩本島に上陸、激しい地上戦が展開され十九万の尊い人命が犠牲となつて六月二十三日に終焉した。八月六日には広島市に原子爆弾が投下、三日後の九日に長崎市に原子爆弾が投下された。遂に日本は米國・英國・ソ連の連合国による「ポツダム宣言」を受諾して八月十五日に無条件降伏。八ヶ年に及ぶ戦争で国は三百万余の尊い人命が犠牲となつて終戦した。「国体護持」を条件に「ポツダム宣言」

を受諾された昭和天皇は荒廃した日本の再興のために「人間天皇」を宣言されて戦争犠牲者のご冥福と国民の幸せを願ひ昭和二十二年二月より神奈川県を皮切りに国内巡幸されて昭和二十九年までに最後の北海道で二巡を終えられました。陛下の深いご慈悲と国民の努力で立派に立ち直ることが出来ました。昭和天皇は昭和六十四年二月七日にご崩御なされ後継の第百二十五代今上天皇、皇后両陛下も日夜「戦没者の慰霊と恒久平和」をお祈り続けられておられます。平成五年四月二十三日に天皇として沖繩の慰霊と県民激励に始めてご巡幸なされました。終戦五十周年の平成七年八月には原爆投下の広島県・長崎県そして沖繩県・東京都を日帰り慰霊巡拝、終戦六十周年の平成十七年六月二十八日には遠くサイパン島の慰霊巡拝、平成二十六年六月二十六日には沖繩から本土への疎開船対馬丸の海没七十周年慰霊巡拝をなされました。今年の終戦七十周年を迎えて四月八日にパラオ諸島のベリリユー島を慰霊巡拝されました。ご高齢で遠いパラオ諸島までご巡幸される両陛下のご心情に唯々感激して止みません。私達は更に一層両陛下の大御心に応えるべく戦没者の慰霊と恒久平和に努める七十周年にしなければならぬと存じます。

終戦から七十周年

宮司 加治順人



一月末、毎年沖繩で遺骨収集を行っているボランティア団体主催の収集作業に参加いたしました。

糸満市真栄平で割り当てられた壕跡の出入口周辺を掘っています。頭蓋骨らしく思われる赤茶けた破片が見えました。周りの土を丁寧に払って破片を取り出し、長く遺骨収集に携わっていらつしゃる沖繩戦経験者の方に見ていただく、それは遺骨ではなく手榴弾の破片でした。そして、少し離れた岩穴の土の中から大腿骨、腰のあたりの骨、骨の破片と共に銃弾が見つかりました。

手榴弾とはいえ、私が手にしたものは鉄製ではありませんでした。戦争末期、金属資源の不足により陶磁器を使用した手榴弾が製造されてきました。取り扱いは難しく、有用性は低かったそうです。ご遺骨の兵士が携行していたのは、その陶器製の手榴弾だと思われまします。心許ない武器とおそらくは少しの食糧を持ち、その人はどのように斃れたのでしょうか。

記名された持ち物がなければ身元確認は困難なものです。ご遺骨はいずれ摩文仁の国立墓苑に収容されることとなります。故郷はどこなのか、いつ、どんな状況で最期を迎え、何を想ったのか、現在

の私たちが知る術はありません。それでも、その破片を手にとった時、七十年前の戦場を近しく感じ、持ち主を偲んで、万感胸に迫る思いがいたしました。

先日、五十年以上にもわたって遺骨収集を続けている方が個人で営む資料館を訪ね、所蔵された遺品の数々を目にする機会がありました。壕の壁に立て掛けられてあった二升瓶に入った水、やはり瓶に入られた重油、乾パン、飯盒、炭化した米などが所狭しと並べられていました。貴重だった米は多くの兵士が少量ずつ携行していましたが、おそらく大切に保管されたまま持ち主が亡くなったたり、炎放射器で焼かれたりして炭になつて残ることが多いそうです。そうしてお話つからも、当時の戦場の様子や戦火の中で戦い、あるいは逃れていった人々の気持ち鮮やかに甦ってきます。

七十年目の今日、戦争を体験した方のお話を直接伺う機会はますます稀少なものとなり、戦跡なども開発や建て替えによつて失われつつあります。けれども、土の中で長く眠り続けた遺品がときに当時の姿を現して、私たちに多くのことを語り掛けてきます。当時の人達が遺していた品々が伝えてくる想いを、心を澄ませて聞き取り、知識で補いながら深く受け止める、そういう継承の仕方でもできるはずですが、当社もその一助となれることを切に願っています。



第五十六回 秋季例大祭

平成二十六年十月二十三日午後時秋晴れのなか秋季例大祭が斎行されました。黙祷、国歌斉唱、祝詞奏上のあと大祭委員長座喜味和則会長の祭文が奏上され「終戦より六十九年となり国民の間には戦中戦後という言葉も忘れ去られようとしています。沖繩県民は平和の尊さを次世代に継承し慰霊の気持ち忘れ

ことなく礎となられた御霊を守護神として永久にお祀り申し上げることがご英霊に報いる道と信じます。」と申し上げました。次に沖繩県遺族連合会照屋苗子会長の祭文も奏上され「祖国の為に勇戦奮闘されたご英霊の崇高なる精神を心の奥深く永久に留め戦争の凄惨さや教訓を心に刻み後世に語り継ぐことが私達戦争体験者の責務と思っております。」と、申し上げました。そのあとMOA山月光輪花からの献花を賜りました。巫女による「みたま慰め二人舞」が奉奏され第五十六回目の例大祭は厳粛に無事斎了致しました。



献花(MOA山月光輪花)

初詣

平成二十七年の本年は一月四日が日曜日となりその間天候にも恵まれ社頭賑わいをみせました。他県では正月に雪が降ることが多いところもあると思いますが沖繩ではどんなに寒くても雪の心配だけは無縁です。本年も暖かい正月を迎えられたことに感謝致す所です。献灯のご奉納は年々増えておりご参拝の方々のご崇敬の念を厚く感じております。

新春もちつき奉納

(P7奉納者御芳名) 一月十日には、当神社と県遺族連合会共催によるもちつきの奉納がありました。これは今回初めての試みでしたが、きな粉をまぶしたもち約三百食が参拝者に振る舞われました。沖繩では正月にお雑煮を食べる習慣がありませんのでもちつきを経験することも少なく、参加者も初体験に戸



惑いながらも何とか全てのもちをつきあげました。新年明け初の三連休ともあり社頭は大勢の参拝者が訪れ、参拝の方々にも実際にもちつきを体験していただくなどして子供から大人まで楽しんでいました。晴天にも恵まれ汗をぬぐいながらのもちつきは来年もやりましようと思いがるなどして盛会のうちに終了しました。ご神前にも奉納され最後に参加者が参列し奉告祭が斎行されました。

社務日誌抄

平成二十六年十月・平成二十七年三月

- | | | |
|-----|-----|----------------------------|
| 10月 | 4日 | 大國魂神社猿渡宮司並びに氏子青年崇敬会一同 正式参拝 |
| | 5日 | 生天光神明宮例大祭 宮司参拝 |
| | 8日 | 普天満宮例大祭宮司参拝 |
| | 14日 | 群馬の塔慰霊祭宮司参拝 |
| | 16日 | 千葉県遺族会二五名 正式参拝 |
| | 17日 | 神警祭還拜式 |
| | 17日 | 南風原遺族会慰霊祭 宮司奉仕 |
| | 17日 | 波上宮秋大祭奉賛会総会 宮司参拝 |
| | 19日 | 浮島神社例大祭宮司参拝 |
| | 20日 | 沖繩神社例大祭局長参列 |
| | 22日 | 宵宮祭 |
| | 23日 | 第五十六回秋季例大祭 正式参拝 |
| | 26日 | 修養団捧誠会正式参拝 |
| | 28日 | 栃木県遺族会自由参拝 |
| | 29日 | 兵庫県遺族会三九名 正式参拝 |
| | 29日 | 広島県遺族会三二名 正式参拝 |
| 11月 | 2日 | 安里八幡宮例大祭宮司参列 |
| | 3日 | 明治祭還拜式 |
| | 4日 | 因伯之塔慰霊祭宮司奉仕 |
| | 5日 | 山口県遺族連盟三〇名 正式参拝 |
| | 6日 | 岡山県遺族連盟六〇名 正式参拝 |

終戦七十周年を迎えて



英霊にこたえる会
沖縄県本部
会長 宮城 篤 正

今年には第二次世界大戦が終結してから七十年の大きな節目を迎えた。

ここ沖縄県においては国内唯一熾烈な地上戦が展開され、二十万余の犠牲者を出し、昭和二十年六月二十三日事実上の終戦を迎えた。

私は昭和十六年生まれで当時四才であり、戦争中のことは全く記憶に残っていない。

父は昭和二十年六月二十日頃摩文仁の近くの与座岳方面で斬り込み隊に参加し戦死したとのことである。

母は三十歳の若さで戦争未亡人となった。戦後の混乱の中、私と姉と弟の三人、そして夫の両親をかかえ、その時から女としての生きる道を捨て必死になつて働き、私達家族の生活を支えてくれたのである。私は物心ついてから高校を卒業するまで、母の寝姿を見た記憶があまりない。

人一倍苦勞した母であったが、私と弟を東京の大学まで行かせてくれたことに対しては言葉には表現できないくらい感謝の気持ちで一杯である。

そんな母であったが、がむしやらに働き少しずつ生活も安定し定年を迎えたあとはやっと平穏な日々を過ごせるようになり、孫や曾孫にも恵まれ賑やかに楽しい家庭を築くことが出来た。その母も昨年六月九十九歳の天寿を全うし安らかな顔で夫の元へと旅立つて行ったのである。

今頃は、苦勞はしたが子供供達を立派に育てたよと夫に自慢していることであろう。

戦没者の妻である我々の母たちは、殆どの人が私の母のような苦勞をしのぎ戦後生き抜いて来たことと思うのである。

今日の我が国の繁栄と平和は七十年前のあの大きな犠牲の上に成り立っていることを決して忘れてはならない。



沖縄県遺族連合会
副会長 大城 竹 明

昭和二十年六月二十六日 沖縄県島尻郡知念村字知名（現 南城市）の避難小屋の中で私は生まれました。

当時は太平洋戦争の真只中で、父は私が生まれる一カ月前に沖縄本島西原町運玉森で戦死致しました。お国の為とはいえ愛する若き日の母と幼かった兄とそしてまだ見ぬ私を残して二十四歳という若さで逝く思いはいかばかりだったのだろうか、どのような想いを遺して逝ったのか、声なき声だけは聞けないのが非常に残念です。亡き父の思い出は何一つなく一度も抱かされたこともなければもちろん言葉を交わしたこともな

く、写真で見ると若き父親の顔しか分かりません。終戦後の荒れ果てる苦況の中で取り残された若き母は、泣くに泣けない状況の中で土木関係の会社で労働者として男勝りに働きました。細い体で家計を支え日々汗を流しながら兄とまだ乳飲み子であった私を女手一つで育ててくれました。母として、また父の分まで働き続けた母の姿は物心ついてきた私の記憶の中に薄らと残っています。

母は常々幼い私達へ「学校だけは出ておけ」と口癖のように言っていました。そんな母の教えでもある「人々に役に立てる人間になりな

しかしながら、今日の世界の状況は各地で宗教上の要因による紛争や民族間の争い事が後を絶たないのが現状であり、決して平和な時代とはいえないのが現実である。

我々戦没者遺族は子や孫たちが二度と「戦没者遺族」になることのないよう世界に向けて平和の尊さを強く発信し続けなければならぬ。終戦七十周年を迎えるにあたり遺族の立場からこのことを強く訴えたいと思う。そしてこの小さな島沖縄に全国の米軍基地の七割以上が存在しているという現実を直視し段階的な基地の整備縮小を一日も早く実現させ、子や孫が安心して生活出来る平和な島の実現を目指さなければならぬ。

そして、世界各国が武力による紛争の解決に頼らず話し合いによる解決を目指し世界の恒久平和が一日も早く到来するよう戦没遺族として強く望むものである。

こうして何かと幸せに暮らしているのは父親を始めご先祖様のお陰であると常に感謝致しております。悲しみの爪痕を残した戦争。戦争は多くの人々の青春を奪い、愛する家族を引き離し、すべてを奪い去って行きました。この悲惨さを伝え継ぐことが私達遺児の使命だと考えます。

今後子や孫にも戦争の悲惨な過去を風化させることなく伝え続けられるようにこれからも、沖縄県遺族連合会副会長、また沖縄県護国神社の総代として関わりを持って頑張っていく所存です。終戦七十周年の節目に沖縄県護国神社が鎮座するこの地で亡き父と母と戦争で失われた多くの御霊を慰め、そして恒久平和の誓いを新たにしたいと思います。

6日	防長英霊の塔慰霊祭 宮司参列
8日	甲斐の塔慰霊巡拝団五七名 正式参拝
8日	茶道裏千家淡交会沖縄支部 正式参拝
8日	住吉神社例大祭宮司奉仕 念法真教慰霊法要局長参列 衆議院議員衛藤征士郎様 正式参拝
9日	世持神社例大祭局長参列 静霊奉賛会八三名 正式参拝
10日	長崎県連合遺族会七五名 正式参拝
10日	神道政治連盟打田幹事長 正式参拝
10日	青森県神道青年会正式参拝 長崎の塔慰霊祭宮司参列 青森県遺族連合会二八名 正式参拝
11日	富山県南方戦没者沖縄慰霊塔 奉賛会五〇名正式参拝
11日	前田高地平和の碑慰霊祭 宮司奉仕
11日	みちのくの塔慰霊祭 宮司参列
12日	島根県遺族連合会一八名 正式参拝
12日	愛知県遺族連合会三二名 正式参拝
12日	佐賀県遺族会四〇名 正式参拝
13日	徳島県遺族会一七名 正式参拝
14日	北海道連合遺族会二九名 正式参拝
15日	高知県遺族会二八名 正式参拝

15日	小笠原流煎茶道沖縄総支部 正式参拝
16日	ひむかしの塔慰霊祭 宮司参列
17日	宮崎県遺族連合会四四名 正式参拝
17日	土佐之塔慰霊祭宮司奉仕・局長参列
18日	岩手県遺族連合会三三名 正式参拝
19日	熊本県遺族連合会二九名 正式参拝
19日	茨城県遺族連合会四一名 正式参拝
19日	日本女性の会荒木事務局 正式参拝
20日	新潟の塔奉賛会二二名 正式参拝
20日	岐阜県遺族会二八名 正式参拝
20日	新嘗祭
23日	表千家不白流沖縄県支部 正式参拝
23日	末吉宮例大祭前原権欄宣 参列
24日	埼玉県遺族連合会五二名 正式参拝
24日	神奈川県遺族会四八名 正式参拝
25日	愛媛県遺族会三六名 正式参拝
25日	福島県遺族会三四名 正式参拝
25日	愛媛の塔慰霊祭宮司参列
26日	神奈川県宗教連盟正式参拝
28日	奈良県遺族会二二名 正式参拝

奉納者御芳名

平成二十六年十月、平成二十七年三月 (社務日誌掲載以外、順不同)

Table listing names of donors and their addresses, including locations like 永代慰霊命日祭新規申込者, 京都府宇治市, etc.

Table listing names of donors and their addresses, including locations like 東京国立市, 青森県護国神社, etc.

Table listing names of donors and their addresses, including locations like 牧志公設市場衣料部, 沖繩県那覇市, etc.

Table listing names of donors and their addresses, including locations like 広島経済大学, 北海道千歳市, etc.

Table listing dates and events for the year, including 12月, 1月, 2月, 3月, and 祈年祭.



業・大晋建設(株)・(株)金城商... (株)山内産業(株)・(株)緑・(株)沖...

業・大晋建設(株)・(株)金城商... (株)山内産業(株)・(株)緑・(株)沖...

業・大晋建設(株)・(株)金城商... (株)山内産業(株)・(株)緑・(株)沖...

業・大晋建設(株)・(株)金城商... (株)山内産業(株)・(株)緑・(株)沖...

Table listing names of donors and their addresses, including locations like (株)アーステック那覇(有), 光陽ビルサービス, etc.

Table listing names of donors and their addresses, including locations like 業・大晋建設(株)・(株)金城商, 琉球電力(株), etc.

Table listing names of donors and their addresses, including locations like (株)山内産業(株)・(株)緑・(株)沖, 琉球電力(株), etc.

Table listing names of donors and their addresses, including locations like 業・大晋建設(株)・(株)金城商, 琉球電力(株), etc.

Table listing dates and events for the year, including 3月, 2月, 1月, and 祈年祭.

沖縄出身のご英霊、沖縄方面出陣のご英霊のご遺書募集

現在靖国神社ではご英霊のご遺書を境内の掲示板に毎月掲示しており、その遺書を集めた書籍「英霊の言乃葉」が出版されています。(左記)遺書は沖縄出身のご英霊(しかし、沖縄出身のご遺書は大変少なく、この度終戦七十周年を迎え沖縄出身のご遺書を集め「英霊の言乃葉」の沖縄版を出版させて頂きたいと考えています。ご遺書が残っているご遺族の方は当神社にご一報頂きませうようお願い申し上げます。

沖縄の遺書

陸軍上等兵 小渡 壮一 命
 沖縄県立第一中学校四年生
 鉄血勤皇隊
 昭和二十年六月十五日
 沖縄県摩文仁村にて戦死
 那覇市久茂地出身

御両親様。どうか健在であつて下さい。私も今度鉄血勤皇隊に入り、郷土沖縄に上陸した敵と戦ひます。万一私が戦死した時は、よくやつて呉れたと思つて、決して嘆く様なこととはしないで下さい。父上の病氣も一日も早く恢復なされて、再起奉公なされて下さい。私もそのことをお祈り致します。母上も父上を激励されて、恢復させて下さい。最後にご両親様の御健康と御発展とを祈ります。

さやうなら。
 身はたとへこの沖縄に果つるとも
 七度生れて 敵七ぼさん
 [昭和四十三年十二月靖国神社頭掲示]

終戦70周年記念 奉納 小笠原流 三々九手挟式 鎧着初め式 沖縄初

日時 **6月21日(日) 午後1時**
 午後1時 鎧着初め式 / 午後1時半 三々九手挟式

場所 **沖縄県護国神社境内**

※なお、波上宮にて午前11時より「草鹿式」が行われます。



三々九手挟式

三々九手挟式 さんさんくてばさみしき

鎧着初め式

三々九手挟式は正月4日の弓始めに限り行われた厳格な弓の儀式で、一辺の長さが9寸の板的の裏側に3寸毎に鋸目を入れて、これを的として串に挿んだことから三々九の挟物と呼ばれています。

明治以降に長寿を祝つて行われた儀式で、今回は終戦生まれの沖縄の方の古希を祝つての奉納です。

終戦70周年特別企画

ご本殿にて昇殿参拝、遊就館の特別展を拝観 靖国神社参拝旅行参加者募集 平成27年秋 実施予定

終戦70周年を迎え、靖国神社への参拝旅行を企画致しました。ご参加お待ち申し上げております。特別展では沖縄、硫黄島を取り上げております。

※お問い合わせは当神社へまで。当社職員も同行致します。

編集後記

終戦七十周年を迎え県外からのご遺族のご参拝が増えています。遅々沖縄までお参りにお越し頂き、ご英霊もさぞかしお喜びのことと思います。また、本年はご案内のように、沖縄初となる小笠原流の弓術奉納や旅行の企画など様々な予定がございます。ご家族ご友人お誘い合わせの上是非ご参加下さいませ。

発行 平成二十七年四月一日
 発行所 沖縄県護国神社
 〒900-0026
 沖縄県那覇市奥武山町四四番地
 TEL 〇九八-八五七-二七九八
 FAX 〇九八-八五七-七九一七
 HP www.okinawa-gokoku.jp/
 編集担当 前原 万岐
 印刷所 株式会社近代美術

辞令

西谷 雅樹
 沖縄県護国神社の禰宜に任ずる
 平成二十七年四月一日付

今後の主な祭典のご案内

- 4月23日 第57回春季例大祭
 - 6月23日 沖縄全戦没者慰霊祭
 - 8月15日 みたまま祭り
 - 10月23日 第57回秋季例大祭
- どなたでもご参列できます。

沖縄県護国神社社報

うむい24号

社報「うむい」について

沖縄の言葉で「思い、願望、考え、所存」のことを「ウムイー」といい、戦争で亡くなっていった人達の思い、そして残された遺族、戦友達の想いを次の世代へと継承すべくつけられた名前。

日清戦争以後、敢然と国難に立ち向かっていった先人たちの尊い精神が、この「うむい」を通して末代まで受け継がれ、真に戦争の無い平和な世の中になるようにとの願いが込められている。



就任の御挨拶

沖繩県護国神社代表役員(会長)

外間 盛善



碩徳多才な先輩諸兄の後を受けこの度、沖繩県護国神社の第五代表役員(会長)に選任された外間盛善でございます。就任に当たりまして一言ご挨拶申し上げます。

私は先の大戦で父と兄を失い、その御霊は靖國神社に合祀されているものと思ひ込み、上京の機会がある度に靖國參拜を重ねてきましたが、役員を拜命して同神社の変遷に触れる機会を得ることが出来、戦後七十一年にしてその真実に辿りつくことが出来ました。

それは、去る大戦において国や郷土を守るために殉難した方々の御霊が沖繩県護国神社に祀られているという真実です。父と兄を大戦において失って以後、母が晩年まで夜な夜な涙を流している姿を見続けてきました。父と兄は靖國神社に祀られているという認識しかなかったため、年老

いた母を伴って参拝することが出来ず、そのことが今でも悔やまれて仕方ありません。

母の生存中に父と兄が沖繩県護国神社にも祀られていると言う事を知っておれば、毎日でも参拝に行ける距離にあることを思うとその悔しさは日増しに増幅するばかりであります。

この真実を知った時、衝撃の大きさに愕然とするものを感じ、他のご遺族の皆様のために何をなすべきか昼夜を問わず考察した結果、先祖崇拝を第一義とする県民の心にその真相を関係者に伝えることが自らの使命であると考える次第であります。関係する諸侯のご理解を得るため、同神社の概要について触れることに致します。

護国神社は東京都及び神奈川県を除く各都道府県に建立され、国や郷土を守るために殉難した方々の御英霊を祀る神社であり、当初は招魂社と称されておりました。沖繩県護国神社は昭和十五年に内務大臣指定の護国神社となりました。しかし、昭和二十年四月の米軍上

陸作戦で社務所を残し、本殿、拜殿が一部を残し焼失し終戦を迎えました。

その経緯から昭和三十四年四月に仮社殿を竣工し、同年靖國神社から沖繩県護国神社へ御霊を奉移し、現在ではその数、県外が六万人余柱、県内が十一万人余柱が祀られております。

仮社殿を竣工した同年、戦後第一回の春季大祭を斎行、秋季大祭には靖國神社から御霊代を奉移し、靖國神社池田権宮司外四名の神職のもと、厳肅盛大な祭典が斎行されました。本県で同じ思いをしているご遺族の皆さんと普遍的な価値観を共有し、この場を借りて伝えることが亡くなった母、父と兄に対する最大の供養ではないかと考えております。

役員に任せられたのも何か運命的なものを感じます。役員に任せられたのも何か運命的なものを感じます。

浅学非才な私ではありますが、日々精進を重ね、粉骨砕身尽力する所存でありますので関係諸兄のなお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶に代えさせていただきます。

役員紹介

代表役員

会長 外間 盛善
元 沖繩県議会議長

責任役員

副会長 照屋 苗子
首里遺族会会長

宮司 加治 順人

事務局長 宮里 洋子

理事 崎濱 秀平
島守の会理事

理事 赤嶺 和雄
(株)京和土建 代表取締役会長

理事 松島 寛行
三協電気工事株代表取締役社長

理事 高江洲 守
オリオンビール(株)総務部長

監事

宮城 篤正
沖繩県遺族連合会会長

外間 邦子
対馬丸記念会常務理事

総代紹介

宮城 篤正 沖繩県傷痍軍人会元会長

総代副代表 沖繩県遺族連合会副会長

大城 竹明 沖繩県遺族連合会副会長

座喜味和則 沖繩県遺族連合会顧問

島袋 秀子 沖繩県遺族連合会副会長

仲宗根義尚 美里遺族会会長

瑞慶山良祐 那覇市連合遺族会会長

翁長 正秀 沖繩県遺族連合会事務局長

大嶺 正光 那覇市連合遺族会顧問

富山 幸宏 恩納村遺族会壮年部長

國吉 信雄 沖繩海友会会長

中地 昌平 日本会議沖繩本部特別顧問

藤田 博久 沖繩借行会会長

嶺井 政治 那覇龍船振興会会長

大城 宗憲 (株)南部 代表取締役会長

山内 昌宏 (株)山内産業会長

長濱 文子 長濱企業グループ会長

測辺 美紀 (株)ビジネスランド代表取締役社長

一橋 勝巳 沖繩高等理容学院元院長

末広 尚希 那覇青年会議所理事長

沖繩県護国神社宮司

加治 順人



「西原の陣地壕を訪ねて」

当社は沖繩戦の慰霊祭を執り行い、数々の問い合わせを受けますので戦闘経過や戦跡について常日頃から勉強しておくよう心掛けています。

昨年五月、お休みをいただいて西原町が主催する戦跡案内に参加しました。

西原町は那覇市の北東に位置し、沖繩戦当時、要塞のような急勾配の山々に入念な陣地構築がなされました。米軍上陸直後から首里防衛の東の要となり、西原、上原(うえばる)、幸地(こうち)、和宇慶(わうけ)、運玉森(うんたまもり)などの戦闘はきわめて激しいものでした。

ご案内くださったのは、高江洲清清さん。畑仕事の合間にボランティアで幸地周辺の壕を発掘しています。普段から一人で調査し、茂みの奥に壕の出入り口らしき穴を見つけると、一人で掘ったり仲間を声をかけて三、四人で掘ったりします。

発掘の際には、きちんと地権者を探

して許可を得ます。地元の繋がりがから、そこが誰の土地かすぐ分かり、頼めば二つ返事で了承されるとか。地元だからこそできる活動です。そうして昨年五月までに掘った壕は、四十カ所になると聞きました。

山を登って畑の畦道を抜けて森に入ると、人ひとりが身を屈めてようやく入れる大きさの穴がありました。七名分の遺骨が出た壕の出入り口でした。

中は意外と広く、立って歩ける高さがあります。鍾乳石の天井から水滴が落ち、ところどころ崩落して地面に砂が積もっています。陣地壕の典型的な造りでコの字型をして、出入口が二つあります。

驚いたことに、壕には電気設備の痕跡があり、すぐ近くには発電所壕らしきものがありました。入って左奥の部屋は床が板張りだったようで、おそらく部隊の本部壕と推測されるそうです。

板張りの部屋は天井と壁が黒く焼け焦げ、米軍の手榴弾と黄燐弾の破片が見つかりました。最期は壕の上部から黄燐弾を投げ込まれたのではないかと、という話でした。飯

盒など生活用品、急造爆雷(木箱に釘などと共に火薬を詰めた対戦車兵器)、防毒マスクのガラス部分、ベルトのバックル、たくさんの靴底……。夜襲に出る兵士は、音が鳴る軍靴を脱いで地下足袋に履き替えました。壕に残された靴の皮は朽ち、靴底だけが残されるのです。

時々、印鑑や名前入りの万年筆が見つかって遺骨の身元が判明することもあります。通常、戦闘地域に配置された部隊は資料から特定できるものですが、西原の陣地帯には二十一もの部隊が次々と投入されたため、身元捜しは容易ではありません。

西原の陣地帯は五月末の首里撤退の際、全軍と住民の南部撤退を支援するため、残置部隊が最後の最後まで戦闘を継続しました。つまり、多くの陣地壕や将兵の最期を伝える証言はほぼ皆無で、今も多くの人や物が人知れず眠っています。

遺骨収集や戦跡は南部ばかりが有名ですが、こうした事例をもっと広く知っていただきたい。私たち神社にも何かできることはないか考え続けています。



富司による講話

終戦記念日みたま祭り

八月十五日正午、戦後七十二年目のみたま祭りが英霊にこたえる会沖縄県本部共催、後援に沖縄県遺族連合会、日本会議沖縄県本部のもとに斎行されました。まず黙祷を捧げラジオから天皇陛下のお言葉を拝聴しまし

十月二十三日午後一時、第五十八回秋季例大祭が斎行されました。

第五十八回秋季例大祭

祭典終了後は社務所にて記念講演会「沖縄県護国神社の歩み」が加治宮司によって行われました。



献華



外間新会長ご挨拶

まず、御英霊に対し黙祷を捧げ、国歌を声高らかに斉唱し、祝詞奏上に続き、大祭委員長外間盛善氏、沖縄県遺族連合会会長宮城篤正氏が祭文を奏上しました。次にMOA山月光輪花からの献華の儀また、無外流明思会、二刀流八重波会による剣術の奉納演武、巫女によるみたま慰めの舞が奉奏され滞りなく斎了致しました。



剣術の奉納演武



国歌斉唱

第五十八回春季例大祭

四月二十三日午後一時、第五十八回春季例大祭が斎行されました。宮司による祝詞奏上の後、大祭委員長座喜味和則氏、沖縄県遺族連合会会長宮城篤



修祓の儀

正氏による祭文が奏上され、続いて茶道裏千家淡交会沖縄支部の御奉茶、航空自衛隊那覇基地太鼓部による奉納太鼓、巫女によるみたま慰めの舞が奉奏されました。

また、祭典開始前には恒例となりました田場盛信氏の民謡ショーが行われ早くからお集まりのご遺族に楽しい時間を過ごしていただきました。



みたま慰めの二人舞



御奉茶



田場盛信民謡ショー

沖縄全戦没者慰霊祭

六月二十三日慰霊の日、正午の時報に合わせ港の船から追悼の汽笛が響く中、沖縄全戦没者慰霊祭が厳かに斎行されました。始めに、御英霊に黙祷を捧げ、国歌斉唱、祝詞奏上、みたま慰めの舞が奉奏されました。また全国の神社、遺族会等から届いた電報をご奉告させて頂きました。

祭典後は沖縄から日本を考える学生の会主催の「殉国沖縄学徒顕彰七十二年祭」が加治宮司斎主のもと斎行されました。祭典では学生たちにより沖縄学徒の遺文が奉読され若くして亡くなられた御英霊に思いを偲ばせました。



座喜味会長ご挨拶

奉納者御芳名

平成二十八年四月(平成二十九年三月) (順不同・重複あり)

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '永代慰霊命日祭' and '新規申込者'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '沖繩県石垣市' and '愛知県豊明市'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '愛知県名古屋' and '千葉県八街市'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '群馬県桐生市' and '札幌市連合遺族会'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '群馬県遺族の会' and '東京都遺族連合会'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '日本会議沖繩県本部' and '愛知県遺族連合会'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '日本遺族会' and '沖繩戦跡慰霊巡拝団'.

Table listing names and titles for the '奉納者御芳名' section, including '御供物' and '正面幕・樽酒'.

特集

沖縄県護国神社は昭和11年の創建から数え、今年で82年目を迎えます。本号より特集「沖縄県護国神社の歩み」と題し、10回にわたって神社の創建から現在までを紹介していきます。



沖縄県護国神社の歩み 第一回 護国神社の設立

明治三十七年（一九〇四）に始まった日露戦争は、その勝利によって新興国である日本の地位を国際的に向上させただけでなく、多くのアジアの国々に勇気を与えた。しかし一方では中国や朝鮮半島支配を進める欧米列強と同じ帝国主義陣営の一角として、多くの脅威を抱かせる結果ともなった。

そして国内では、国力を増強させるため様々な政策や奨励が行われ人々の生活に大きな変化をもたらされた。それは本土と遠く離れた沖縄にも及び、制度上の変化とともに人々の意識も大きく変動していった。

そのような時流のなか、これまで旧慣温存措置により実施されていなかった徴兵制度が本土から二五年遅れて（明治三二年より実施）施行されることとなり、県内からも日露戦争へ三、八六〇名が召集され、その

内二〇五名が戦死、一九四名が負傷した（『那覇市史第二巻』）。そして、それらの戦死者を祀る為の招魂祭が県内各地で行われ、それぞれの地域でその地域出身の戦死者が祀られるようになっていった。

明治三十九年六月二四日付けの『琉球新報』には、日露戦争で戦死した県出身者を祀る大招魂祭を伝える記事が掲載されている。それによれば、戦没者を慰霊する行事として各種の行列や綱引き、旗頭、爬龍船競争などが県内各地で催され、大変な賑わいであったことが記されている。また、明治四三年には皇族参列のもと、奥武山公園内に設けられた臨時の祭場で執り行われた招魂祭の様子が大きく取り上げられている。それらの新聞記事の内容から、明治の後半にはすでに全県的な招魂祭が行われていたことがわかる。

それら県主催の招魂祭は、毎年秋に奥武山公園の広場

（現在の護国神社裏手）で行われ神式と仏式に分けて祭典が行われていた。また各市町村では、大正の始め頃から昭和初期にかけて、戦没者の慰霊のために建立された忠魂碑の前で毎年秋に祭典が執り行われ、そこで日清、日露戦争を始めとする種々の戦争で戦死及び戦病死した地元出身の戦没者が祀られた。

このように県内各地で忠魂碑が建立されるなか、県では、これまでの招魂場として臨時に祭場を設営し祭典を行ってきた那覇市の奥武山公園内に、神式の祭典を行う施設として招魂社を設立することとなり、昭和十一年十二月に沖縄県招魂社が創建された。

その後、昭和十四年三月一日に出された内務省令第一二二号により全国にある招魂社は護国神社と改称することとなり、沖縄県招魂社も沖縄県護国神社と名称を変更した。（全十回を予定しています。）



献灯 奉納者御芳名

(株) ジャスマンソフト (株) まつけん設計 (株) 新建 (株) 円満企画・オリオンビル (株) 沖縄県護国神社責任役員高江洲守 (株) 名城・沖縄ツーリスト (株) リユウゴジヤパン (株) さかえ労働管理事務所 (株) アースティック那覇・豊見城市遺族会 (有) 沖七レモニー社 (株) ASA K A (株) しげ組 (株) ツハ設備 (株) スタークラウン代表取締役与那嶺亘・オロク商会 (有) 西紀 (有) 新長堂土木・那覇空港ゴルフ練習場 (株) 屋我商会・オキコ (株) (株) 大成・豊見城地区交通安全協会 (有) 設計集団 閃 (株) 国際ビル産業・三栄工業 (株) 具志堅グループ琉球会 会長 嘉手苅義男 (株) 東部電気土木 (有) 蒼竜社 (株) 阿部・白バラ洋菓子店 (株) 仲本工業・沖縄ガス (株) (有) 沖縄式典プランニング・グリーン産商 (株) 沖縄三菱電機販売 (株) 神路社・メディカルプラザ歯科 宮城尚広 (株) 沖縄ボイラエンジニアリング・大城佐知子 佐奈・比嘉良雄・嘉手苅町遺族会 (株) うるま印刷・新日本工芸 (株) 三協電気工事 (株) シンパホールディングス (株) (株) トラストテック奥武山公園運営管理事務所 (株) 三宝社 (株) ゼーゲン・カンパニー (株) シンテック・沖縄県赤十字血液センター (株) 大輝 (株) かねよし (株) 名護バ

イン園・南洋土建 (株) あすなろ司法書士法人 (有) 福岡奉製 (株) オカノ (株) サンクス沖縄・大鏡建設 (株) S K G (株) 代表取締役 小林真一・真幸組 (株) 代表取締役 小林真一 (株) モリパッケージ・北谷町 まちだクリニク (有) たけ事務 (株) 沖縄銀行・沖縄県傷痍軍人会 (有) フォーム設計計画・英霊にこたえる会 沖縄県本部 (株) 企画T (有) 大松・表千家同門会 沖縄県支部・那覇東急REI ホテル (株) 茂水産 (株) 久米島の久米仙・楊少文 立津美奈子 (有) アカリ設計・沖縄県隊友会・第一総業 (株) (株) 東洋土木工業 (株) 沖縄海友会・ABC 沖縄放送宣伝社 (株) 九電工 沖縄支店・沖縄電ビルシステム (株) アスク沖縄 (株) 加藤正明 (株) O A マルゼン・H A I R I S T U D I O F A R B E ー トーマ産業 (株) (株) おきさん 拓伸会 会長古波津清昇 (株) 金城組 (株) アニヤデンキア・ピカ (株) アニヤデンキ (有) 丸徳ガス産業・たけや旗染店・石川國造命・比嘉憲太郎・山陰神話研究所・足立信一 足立恵美子・S H E L T E R C H I L D R E N (株) (株) 三眞運輸・ヤシマ工業 (株) ヤシマ工業 (株) 安全衛生協力会・かりゆし工房・八重山遺族会・山ちゃん弁当・平良 元・平良 仁志・修養団持誠会 沖縄県支部 (株) 豊都建設・福井康夫・福井博子 (有) 西原農園・エスピージャパン (株) 沖縄県遺族連合会 (株) 緑 (株) ビーンズラボ (株) 匠宮 (株) 富士開発 (株) ホテलगランビユー・おきさんワールズ (株) 南都物産 (株) 湖辺美紀 (有) 丸和産業・ビジネスランド 湖辺美紀 (有) 浪速管理・嘉互業・お香の香音・大坂 (株) 浪速管理

(株) 浪速管理 東京事業部 大阪 野崎美苗 大阪 野崎佐季 大阪 野崎千弘 大阪 野崎節子 真和志遺族会・読谷村遺族会・沖縄県護国神社総代 大城竹明・糸満市遺族会系満支部・沖縄県護国神社総代 座喜味和則・沖縄県護国神社総代 橋勝巳・阿含宗沖縄道場・沖縄県護国神社総代 嶺井政治・那覇遺族会瑞慶山良和・宜野湾市遺族会・國幸興發 (株) ぎショップ壺川 (株) 沖縄住宅 代表取締役 嶺井政則・古波鮫隆 (有) エーツーサイン (株) アジアントレード沖縄 (株) おきさんジェイシービー (株) 神枝 (株) ジェイシービー (株) めいわ総建 (株) 大成美建興業 (株) 大上建設 宮里種苗 宮里安昇・沖縄県護国神社責任役員 宮里洋子 (有) 恩納アルミ工業・裏千家茶道教室 秦宗文 (同) サノハタ・沖縄県護国神社会長外間盛善・沖縄県護国神社責任役員照屋苗子・専士工業 (有) 狩俣組・具志堅製菓所・ホテルパークスタジアム那覇・沖縄鶏卵販売 (株) 学校法人ゴレスアカデミー日本文化経済学院・自主憲法制定沖縄県民会議 (有) 沖縄ニューハウスセンター・AMKステージ・社会福祉法人大竹福祉会 (株) トランク・首里遺族会会長照屋苗子・小笠原流煎茶道 沖縄総支部 日賀ハツ・おにぎり屋 えんむすび・小笠原流煎茶道 沖縄総支部 武藤初枝・高良幸栄・幸司・高良勇介・陽平 (財) 沖縄電気保安協会・有限会社金功重機 (株) 西建設 (株) 国和システム・ホテルゆがふいんおきなわ (有) 匠建 (株) 松村電機製作所 沖縄営業所 雅代行・かつらそうざい (有) エヌケイプランニング (有) フォートプランサーピス・豊見城市議会議員 宜保安孝・沖縄県出店業事

業協同組合・友利日出夫・島袋林正・賀数祐樹・上原直也・米須清治・米須清二・中村哲・上原栄徳・新本健・垣花力男・賀数吉雄・川満定行・石原昌昭・野底友子・鶴田幸恵・上間清活・医療法人玉福 海と空とクリニク (株) 古波蔵組 (株) おきさんエス・ビー・オー (有) わかまつ堂製菓・表千家不白流沖縄県支部・与儀シゲ (株) 丸忠 (株) 沖縄富士通システムエンジニアリング 内田伸・オーシロ電化 オーシロマンゴー園 (株) マツムラ・フォートプラザ・RBCラジオ (有) ビーンズ広告社 (株) 琉信ハウジング・東建コーポレーション (株) 北谷支店・沖縄県護国神社 宮司 加治順人・東建コーポレーション (株) 那覇支店・沖縄シャリーニング (株) 日女道院覚醒学校 沖縄校・たろう 蘭科医院 乾 太郎 乾 礼名 乾 華子 乾 夢子 乾 蘭子 (株) ジョイント沖縄・上野ミチ 上西弘子・善平朝輝・久場榮喜 (株) 京和土建 (株) 外間重機 (株) 屋部土建・森川家一同・鏡原クリーニング店 (株) 沖縄日立 (有) 照電社 代表取締役 崎山幸照 閃光社 長田益博・南風原 まあさん堂・まあさん堂有志会・アラカキ建設 アクティブ・前原建設・前原産業・さくらん・南友会・前泊家ヒルマ会・前原良一・まち子・蘭フラー・山城開発 (株) 赤嶺敏子・新報トラスト (株) 瑞慶山和子琉球道場・那覇市連合遺族会・街クリー (株) (株) 近代美術・田場 聡 Y O U C H I 運送・前泊正基 初子・沖縄トヨタ自動車 (株) 久保田照子チャームスクー ル 久保田産業・前原敏彦

平成29年(酉年)の 厄年表

酉年生まれ(新暦)

平成17年 生まれ	昭和32年 生まれ
平成5年 生まれ	昭和20年 生まれ
昭和56年 生まれ	昭和8年 生まれ
昭和44年 生まれ	大正10年 生まれ

男性 (数え年)

平成5年生 25歳本厄
昭和52年生 41歳前厄
昭和51年生 42歳本厄
昭和50年生 43歳後厄

女性 (数え年)

平成11年生 19歳本厄
昭和61年生 32歳前厄
昭和60年生 33歳本厄
昭和59年生 34歳後厄

主な祭典のご案内

- 一月一日 歳旦祭
- 二月十一日 紀元祭
- 四月二十三日 春季例大祭
- 四月二十九日 昭和祭
- 六月二十三日 沖繩全戦没者慰霊祭
- 六月三十日 水無月大祓式
- 八月十五日 終戦記念日みたま祭り
- 十月二十三日 秋季例大祭
- 十二月二十三日 天長祭
- 十二月三十一日 大祓式
- 除夜祭

遺骨収集に思う

権彌宜 松元孝太

修養団沖繩がじまる会・SYD ボランティア友の会主催の沖繩戦遺骨収集ボランティアで、糸満市真栄平にある南北の塔下壕内遺骨収集作業に参加しました。

今回の収集作業は、終戦直後真栄平地区より收容され慰霊塔下の壕内に埋葬された御遺骨を、国立沖繩戦没者墓苑に改葬する為のものであります。この壕については、昨年来複数回収集作業が行われたと聞いていた為、壕内に残された御遺骨は少ないものと考えておりました。しかし、いざ作業を始めると、壕内各所から多数の御遺骨が収集され、自身の安易な認識を恥じました。

現在、二千余柱もの御遺骨が未収集のまま県内各地に眠っていると云われておりますが、この日の収集では七十二柱の御遺骨を陽の当たる場所にお出しすることが出来ました。

我が護国神社の御祭神は戦没された御英霊であります。収集作業で実際に御遺骨や御遺品に触れていると、我が御祭神がかつて私達と同じく肉体を持ち、人生を懸命に歩んでおられた市井の人々であるという事実を改めて思い知ります。未収集の御遺骨が一刻も早く収集され、御安寧にお休みいただける日が来るようにと願うばかりであります。

我々参加者が安全に遺骨収集出来るよう、諸準備にあたられた基幹要員の皆様に感謝申し上げます。

沖繩県護国神社

人事異動

松元孝太

権彌宜に任ずる

平成二十九年四月一日付

大城未来

巫女の任を解く

平成二十八年八月三十一日付

新職員紹介

濱元真紀乃



四月より巫女として奉職しました。諸先輩方からの指導を頂き真心を込めて、ご奉仕に努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

発行 平成二十九年四月

発行所 沖繩県護国神社

〒900-0016

沖繩県那覇市奥武山町四四番地

TEL 〇九八・八五七・二七九八

FAX 〇九八・八五七・七九一七

HP www.okinawa-gokoku.jp/

編集担当 高良 奈緒矢

印刷所 株式会社近代美術